

群馬県 JA利根沼田（リンゴを香港へ）



調整作業風景

沼田産リンゴの販路拡大と産地PRを目的に、1140kgのリンゴを香港へ輸出。

平成20年度の輸出量
陽光 1ケース(10kg入り) 114箱

【販売戦略・苦労した点等】

- JA利根沼田と沼田市りんご組合では、群馬県農畜産物等輸出推進機構の協力により、平成19年から香港向けに、群馬県育成品種「陽光」の輸出に取り組む。
- 香港では日本産のリンゴは高品質・高級品として扱われるため、輸出にあたっての調整作業では、果実の着色や大きさ、傷などを1個1個チェックし箱詰めを行う。
- 現地バイヤーを招いて、生産地の視察を行うなどし、意欲的なPR活動を行う。

【輸出によるプラスの効果等】

- 販売先確保、販路拡大につながる海外マーケットの確保。
- 高品質な沼田産リンゴのPR。



箱詰めされたリンゴ

<http://www.jatone.or.jp/>